

東京でアレルギー展

情報交換など狙い初開催

東京都立産業貿易センター（東京都台東区）で21日、「みんなのアレルギーエキスポ」展が開催された。同展は、患者会や企業、NPO法人、自治体などと来場者の情報の

共有や交換の場として、日本環境保健機構などが主催したもので、今回が初開催。

繊維業界からはニッセンケン品質評価センターや日本オーガニックコットン流通機構、竹繊維を



ニッセンケンのブース

用いた製品を展開するナファ生活研究所（東京都渋谷区）などが出展。ニッセンケンには、「エコテックス規格100」を紹介した。

同規格は、世界の試験研究機関で構成するエコテックス国際共同体（事務局：スイス）が定めた、繊維製品に対する国際的な安全基準。世界中の法律や自主規制によって使用が禁止または規制されている化学物質の使用量が規制値以下であることを証明する仕組み。日本では、2000年に同共同体に加盟したニッセンケンだけが認証業務を行っている。

「繊維ニュース」2015年11月25日（ダイセン発行）